

2020年（令和2年）の日本の天候

2020年（令和2年）の日本の天候は、気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的にかなり高くなりました。全国的に暖冬で、東・西日本で記録的な高温、日本海側で記録的な少雪となりました。「令和2年7月豪雨」など7月は東・西日本で記録的な大雨と日照不足となりました。

2020年（令和2年）の日本の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的にかなり高くなりました
ほぼ年間を通して気温の高い状態が続いたため、年平均気温は全国的にかなり高く、東日本で平年差+1.2℃と、1946年の統計開始以来、最も高くなりました。

○全国的に暖冬で、東・西日本で記録的な高温、日本海側で記録的な少雪となりました

2019/20年冬は、冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の流入が弱かったため、全国的に気温が高く、特に東・西日本では冬の平均気温の最も高い記録を更新しました（統計開始1946/47年冬）。また、全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では冬の降雪量の最も少ない記録を更新しました（統計開始1961/62年冬）。

○「令和2年7月豪雨」など7月は東・西日本で記録的な大雨と日照不足となりました

活発な梅雨前線の影響で、7月は東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり（「令和2年7月豪雨」）、月降水量は東日本太平洋側、西日本で7月として最も多い記録を更新しました。月間日照時間も東・西日本で7月として最も少ない記録を更新しました（統計開始はともに1946年）。梅雨明けは沖縄地方を除く各地方で遅くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:837KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko2020_besshi.pdf

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-6758-3900 (内線 4277) FAX 03-3434-9035
大気海洋部 気候情報課 担当 中三川(天候の解説について)
電話 03-6758-3900 (内線 4547) FAX 03-3434-9123